

単元名 4 心の動き 一星の花が降るころに

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 登場人物の心情とその変化を捉え、それについて自分の考えをもつことができる。
 (2) 作品の展開を確かめながら、場面ごとの状況やそのつながりを読み味わうことができる。
 文
 脈の中で言葉の意味を捉え、表現の工夫を味わうことができる。
 (3) 作品のおもしろさを味わい、物語を楽しもうとする。

標準的な展開例

10210202_001

【準備等】国語指導CD、再生機、作文用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 本文を通読し、これからの学習の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新出漢字を学習し、難解語句を調べる。 ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★興味をもったところや、心に残ったところを発表し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師の範読を聞く。 <p>○興味をもったところや心に残ったところを取り上げて、初読の感想を書く。</p> <p>○興味をもったところや心に残ったところを発表する中でこれからの学習の見通しをもつ。</p> <p>2 場面の展開に沿って、「わたし」の心情の変化とその理由を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を整理し、学習の見通しをもつ。 <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★行動や情景描写などから、「私」の心情を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間や場所が分かる表現に着目して、場面展開を確認する。 ○場面ごとに行動や情景描写など、「私」の心情が分かる表現を抜き出し、そのときの心情を考える。 <p>3 行動描写や情景描写と「わたし」の心情の関係をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★行動や情景描写などから、「私」の心情の変化をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人での追究結果を交流しながら、小グループで話し合い、「私」の心情の変化をまとめる。 <p>○小グループでまとめた心情の変化について、全体に発表する。</p> <p>○「私」の心情の変化について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典を活用するとよい。 ・「目標」(p.114)を確かめ、大まかな学習の流れについて説明しておく。 ・楽しかった友達との思い出を聞いていく中で「星の花が降るころに」も、中学1年生が主人公であることを話しながら、生徒全体に意欲付けを行っていきたい。 ・読み聞かせて物語の楽しさを伝えたい。 ・新出漢字や注意する語句について確認する。 ・国語指導CDを活用してもよい。 ・心惹かれた場面や心に残ったところを取り上げさせる。 ・教科書に印をつけさせる際には、驚き(!)発見(☆)疑問(?)共感(◎)など、共通の印を決めておくとうい。 ・ここで挙げた疑問や発見、感想をこの先の学習を進めていく上で活用したい。 ・感想の発表では、「どこが、どのように心に残ったのか」が分かるように発表するよう指示する。 ・「登場人物」「情景描写」「比喩などの表現」などに分類しておくとうい。 【評】感想を発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む姿勢」を評価する。 ・「『私』を中心に作品の内容を押さえよう」(p.114)と関連付けながら課題を整理し、学習の見通しをもつ。 ・「私」のいる場所や時間を表す表現を確認しながら、場面展開を確認する。 ・考えてから話し合いをするまでに、きちんとその過程を押さえて、時間を保障する必要がある。 ・本時は、個人で課題に取り組み、次時で小グループで考えをまとめ、その結果を全体に発表する学習活動を計画している。 ・課題に取り組む方法は、個人、小グループ、学級全体など、クラスの状況に応じて適切な形態をとるように配慮する。 【評】「私」の心情を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】自分の追究結果をよりどころにしながら積極的に話し合いに参加する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する ・場面展開に即して、「私」の心情の移り変わりを説明させる。 ・読み取りが異なるグループについては、その理由を説明させながら、全体で確認する。 ・場面ごとの「私」の心情が、肯定的なもの(

- 4 登場人物の気持ちを想像し、この作品の続きを考える。
- 本時の学習課題をつかむ。
 - ★ 行動や情景描写から「私」の見方や考え方の変化をまとめよう。
 - 戸部君に対する「私」の見方や、考え方の変化をまとめる。
 - 銀木犀を通して「私」の考え方の変化を読み取る。
- 5 学習を振り返り、まとめをする。
- 本時の学習課題をつかむ。
 - ★ 作品のおもしろさを味わい、続きを自分で考えよう。
 - 登場人物の心情を想像して、この後、作品がどう続いていくかを考える。
 - 作品の続きを書く。
- 互いの作文を交流し合う。

+)か否定的なもの(-)かを、大きく捉えておく。

- ・ 前時でまとめた「私」の心情を振り返りながら、変化のきっかけとなった出来事についてまとめさせる。
 - ・ 「お守りみたい」に大切にしていた銀木犀の花びらを捨てて、「銀木犀の木の下をくぐって出た」ことが、新たな一歩を踏み出そうとする「私」の決意や心の成長を象徴していることを読み取らせたい。
- 【評】「私」の考え方の変化を読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 事前に「どの登場人物に注目するか」「この後、どんな出来事が起こるか」を明確にさせることが重要である。
 - ・ 作品の特徴である「一文が短い」ことや「巧みな比喩表現が使われている」ことを意識させながら書かせる。
 - ・ 作文は300～600字程度でまとめるように指示する。
 - ・ 書く内容について、この後の「私」，「私」と戸部君との関係，「私」と夏実との関係などから、題材を絞って書かせるようにする。
- 【評】作品の続きを想像して書く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 評価基準を示し、互いのよいところや課題に気付かせる。

【 備 考 】

この単元では、物語と記録文を主に「展開」という観点から読み取ることを目的としている。学習指導要領解説にあるように、「構成」とは文章の組み立てなどを静的に捉えたもので、「展開」とは、人物の心情や事実の変化に沿って動的に捉えたものである。「構成」を前提としつつ「展開」に注意し、書き手の思考の流れを生き生きと読み取らせたい。

また、「星の花が降るころに」は、友情の尊さを理解する内容となっている。これは道徳のBー(8) 友情・信頼にあたり、これを機会に、互いに励まし合い、高め合う友情について考えさせたい。「大人になれなかった弟たちに……」は、生命の尊さを理解し、家族の愛情の深さに気付く内容となっている。これはDー(19) 生命の尊重と、Cー(14) 家族愛にあたり、かけがえのない生命を精いっぱい生きることの尊さと、家族の愛情の深さや家族の絆を深めようとする気持ちに気付かせたい。